

平成 29 年 第 5 回

富 山 県 教 育 委 員 会 会 議 録

I 開会及び閉会の日時

平成 29 年 4 月 10 日 (月)
開会午後 1 時 30 分、閉会午後 1 時 55 分

II 場所

教育委員会室

III 出席委員

1 番	米田 猛	2 番	山崎 弘一	3 番	町野 利道
4 番	村上 美也子	5 番	藤重 佳代子	教育長	渋谷 克人

IV 説明出席者

教育次長	山下 康二	教育次長	坪池 宏
教育企画課長	五十里 栄	生涯学習・文化財室長	菊池 政則
教職員課長	廣島 伸一	県立学校課長	本江 孝一
小中学校課長	金谷 真	保健体育課長	秀永 倫明

V 傍聴人数 1 人

VI 会議の要旨

午後 1 時 30 分、渋谷教育長が開会を宣する。議事に先立ち、渋谷教育長から平成 29 年 4 月 1 日付け人事異動に伴う事務局幹部職員の紹介があり、その後、議事に入る。

1 会議録の承認について

(平成 29 年 3 月 10 日開催の平成 29 年第 3 回富山県教育委員会会議録及び平成 29 年 3 月 21 日開催の平成 29 年第 4 回富山県教育委員会会議録)
会議録閲覧
渋谷教育長から可否を諮ったところ、全員異議がなく承認した。

2 議決事項

議案第 24 号 新富山県教育振興基本計画(仮称)に関する件
教育企画課長から説明し、原案のとおり可決した。

3 報告事項

- (1) 平成 29 年度富山県公立学校新規採用教員配置状況について
教職員課長から説明した。
- (2) 公立中学校及び公立幼稚園の廃止について
小中学校課長から説明した。

4 その他

今後の教育委員会等の日程について
教育企画課主幹から説明した。

5 議事

○議決事項について

議案第 24 号関係
〔町野委員〕

- ・別紙 2 の改定ポイントのところ、道徳教育がどんと出ているが、計画案そのものを見ると、大分探してようやくその記載が見つかるといった感じである。

〔教育長〕

- ・39 ページに記載がある。

〔町野委員〕

- ・ここに書いてあることから、計画を作っている事務局側と現場の先生が、道德教育を今後どのように進めていこうかまだ検討している段階であるように見受けられるが、そのような理解で正しいか。

〔教育長〕

- ・これは5年間の計画で、柱の部分だけを記載しているの、毎年実施していることについては、毎年の予算要求や活動方針で律していくという形を取っている。

〔町野委員〕

- ・非常に重要なことなので、どうやっていくかというのは計画を策定する事務局側と現場で色々話をしながら進めていってほしい。

〔村上委員〕

- ・すごく大事なところで、人も時間も必要になる部分。話を進めていく時間がしっかり取れれば良いと思う。

〔教育長〕

- ・道德は来年度から小中学校で教科化され、評価付きになる。そのため、現在研修でも集中的にやっている。

〔米田委員〕

- ・別紙2の「学習指導要領」はすでに「案」ではなく「告示」が出ているが、アクティブ・ラーニングが大きな柱となっている。カリキュラム・マネジメントも大きな柱になっていると思うが、その辺についてはどこかに記載されているのか。

〔山崎委員〕

- ・本文中に何箇所か記載されている。

〔米田委員〕

- ・別紙2には記載されていないのか。

〔教育長〕

- ・別紙2はかいつまんで記載したもので、全部は網羅できなかった。

〔米田委員〕

- ・アクティブ・ラーニングにしても、カリキュラム・マネジメントにしても、言葉は目新しくても、何だろうと思うのだが、その内実は結局学校現場の問題であり、そこは5年間だけでなく、もっと先を見据えて検討する必要がある。

〔教育企画課長〕

- ・本文にもいくつか記載はあるが、例えば50 ページにも、主な取組みとして、高校教育の充実のところに、カリキュラム・マネジメントによる教育活動の全般的な改善の推進というものもある。

〔教育長〕

- ・現実にはどのような取組みをするかというのは毎年考えていく。

○報告事項について

報告事項（1）関係

〔教育長〕

- ・ここ最近、新規採用職員は300人超えが続いている。昔は100人程の狭き門で、だんだん広き門にはなっているが、現場ではこれまで培った手厚いノウハウを持った方々がどんどん去っていく。そこをどうやって継承していくかというのが課題であり、そのあたりについても力を入れている。

報告事項（2）関係

〔町野委員〕

- ・氷見の北部中学校の場合は、通学時間はどのくらい長くなるのか。

[小中学校課長]

- ・時間までは確認が取れていない。灘浦中学校は、氷見でも県境の方にあるということで、市では、家から学校が遠いという生徒に対してスクールバスを運行し、対応している。

[保健体育課長]

- ・石川県境の方だったら、30分、もしくはそれ以上かかる。

[町野委員]

- ・1時間超えていなかったら問題ないと思う。中学校で30分なら妥当である。小学校でそうなるとちょっと問題だが。バスが用意してあるならそれで良いと思う。これからこういった問題がどんどん出てくるのだろう。

[教育長]

- ・このあとも、市町村はどんどん統合計画をしている。去年は魚津で小学校が3校統合して清流小になった。魚津と黒部が進んだ形になると思う。

[山崎委員]

- ・現在、小学校中学年・低学年は9,000を割っており、今後さらに学校統合の波は広がっていくと思う。今回の場合は4月1日から北部中学校へ入学するということだが、それ以前1、2年生だった者もそのまま北部中へ移るということか。

[小中学校課長]

- ・そうである。

午後1時55分、議事が終了したので教育長が閉会を宣した。